



### 葛巻のナラで林業体験 キッズニア東京大盛況

職業体験ができる子どもが主役の街「キッズニア東京」(東京・豊洲)で葛巻町森林組合(中崎和久組合長)が提供するナラの間伐材が大活躍しています。

このテーマパークに、同組合の事業に参加する環境NPO オフィス町内会(東京都荒川区・半谷栄寿代表)がキッズニアの森として5月に出版。本物そっくりの擬木にナラの枝を打ち込み、小学生らが枝打ちなどの体験しています。6月18日は、栃木県から修学旅行で訪れた小学生らがヘルメットや作業ベルトを身につけ、小さなこぎりで枝打ちに悪戦苦闘。林業体験を通じて、森林の大切さや手入れの必要性を学び、林業への理解を深めていました。

町は森林組合とともに間伐サポーター企業(全国で108社)に登録し、同町内会が進める「森の町内会」の「間材に寄与する印刷用紙」を本紙に利用するなど、より良い環境づくりに貢献しています。

やっとのことで枝を切り落としにっこりする小学生



### 今年はひとときの交流 必ずまた来年会おうね

6月8日、江刈小学校(湯原尚子校長・児童36人)で「羊を迎える会」が行われました。昨年、春から秋に江刈小学校で過ごした羊(サホーク種)の「さくら」とお友達の2頭が来校。「待っていたよ。来てくれてありがとう」と1年生一人一人が歓迎のことばで迎えました。「さくら」の毛刈りを全員で体験、「さっぱりしたね」「おりこうさんだね」と声を掛け、なでてあげました。

江刈小学校では今回で19年目の畜産開発公社からの羊の受け入れの予定でしたが、口蹄疫という怖い病気から「さくら」たちを守るため、畜産開発公社に飼育を引き続きお願いすることに。お世話をする予定だった1~2年生は「来年また会おうね」「牧場に会いに行くからね」と羊を乗せたトラックが見えなくなるまで追い掛け、手を振っていました。

さっぱりしたさくらとお友達の羊を囲む1~2年生

### オーケストラの演奏に 生徒たちの歌声のせて

町村合併55周年を記念して、東京多摩交響楽団ふれあいコンサートが6月24日、町社会体育館で行われ、小・中・高校生や一般市民約800人がオーケストラの音楽を楽しみました。

ルロイ・アンダーソンの「タイプライター」や「そりすべり」などおなじみの曲など10曲を演奏。3中学校の生徒はオーケストラの演奏に合わせて「翼をください」を、高校生は「葛巻高校校歌」を合唱しました。また、児童・生徒ら7人がベートーベンの交響曲「運命」の指揮を体験しました。最後にコールアローがオーケストラの演奏に合わせ「風が」を合唱し、音楽の交流を深めました。



ステージではなく同じフロアでより近くで楽しむことができました

### 迫力のある雑伎と演奏 中国の伝統芸能を堪能

中高一貫教育事業の一つ「芸術鑑賞会」が6月15日、葛巻高校の体育館で開催されました。町内3中学校と葛巻高校の生徒・教職員など約400人が、「中国芸能・雑伎」を鑑賞しました。

「皿回し」や「こま回し」、中国伝統楽器「二胡」の演奏では「星に願いを」や「世界に一つだけの花」など日本でおなじみの曲も。国家機密(!?)ともいわれる「変面」は、一瞬にして次々と顔が変わる絶技で、驚きの拍手が沸きました。

川戸翔太さん(葛巻高3年)は「迫力のある演技を、間近で見ることができてよかった。ありがとうございました」と代表してお礼をしました。



こま回しに挑戦する土谷健くん(小屋瀬中3年)

商工会女性部(近藤とし子会長・会員70人)は6月21日、元町の国道340号、グリーンテージ入り口付近に花を植栽しました。これは、商工会法施行50周年を記念して行われたもの。緑の植栽の間に、黄色とオレンジ色のマリーゴールドがバランス良く植えられています。



### ちょっと立ち止まって 花を楽しみませんか?

夢ミルクの会(藤森敏子会長・会員40人)は6月17日、土谷川地区の国道281号沿い、ほすなある付近に花を植栽しました。今年は、町村合併55周年ということで、「55」の文字をかたどっています。早く大きな花が咲いて、彩りが鮮やかになるのが楽しみです。



歯科衛生士からチェックしてもらいました

### 正しいブラッシングで 自分の歯は自分で守る

五日市小学校(中田直雅校長・児童40人)は6月15日、歯科衛生士の湊みどりさんを招き、ブラッシング教室を実施しました。

3・4年生の授業では「前歯を守ろう」という内容で、鏡で自分の歯をしっかりと確認するところからスタート。次に、前歯を中心に歯垢を染め出す赤い液を塗り、赤くなったところを一人一人がチェック。そのみがき残しに、歯ブラシをきちんと当てる方法を歯科衛生士さんから教わりました。久保帆夏さんは「歯の内側をがんばってみがきたい」と感想を語りました。

